

募集要項

公益財団法人 日本プライベートトラスト財団
革新的治療開発基金

2026年4月6日

1. 設立の趣旨

本基金は、パーキンソン病を患う方々の「病気の不安から解放し、子供たちにパーキンソン病は怖くないと言える未来を残したい」という想いに基づき設立されたものである。既存の対症療法にとどまらず、病態進行の抑制・停止（Disease Modification）や神経機能の再生など、パーキンソン病の根本的な解決（根治）を目指す独創的かつ挑戦的な研究を支援することを目的とする。

2. 助成対象領域

パーキンソン病および関連疾患における、以下の領域の研究を対象とする。

- **病態解明**：神経変性の分子メカニズムの解明、病因タンパク質の凝集・伝播、およびマルチオミクス解析を用いた神経炎症等の病勢修飾因子に関する研究。
- **創薬・治療法開発**：新規創薬ターゲットの同定、遺伝子治療、細胞療法、ドラッグデリバリーシステムの開発。
- **診断・バイオマーカー**：超早期診断を可能にする革新的バイオマーカーや画像診断技術の研究。
- **臨床医学・トランスレーショナルリサーチ**：根本治療（Disease Modifying Therapy）を標的とした臨床試験、介入研究、およびそれに資するコホート研究や患者レジストリを用いた臨床研究。

【対象外とする研究】

本基金の趣旨に鑑み、以下の研究は原則として対象外とする。

- 既存薬を用いた対症療法および症状緩和（QOL 向上）のみを目的とする臨床研究。
- リハビリテーション、介護手法、デバイスを用いた生活支援に関する研究。

3. 助成内容

総額 1,000 万円を以下の通り配分する。

助成金額は間接費を含めた総額とする。

区分	助成金額	採択予定数	対象（目安）
革新的根本治療賞（A）	400万円 / 件	1件	顕著な実績を有し、本研究を飛躍させるPI（研究責任者）
若手挑戦奨励賞（B）	200万円 / 件	3件	※50歳以下の研究者による独創的かつ萌芽的な研究

※2026年4月1日時点で満50歳以下。

使途：原則として制限を設けず、本研究の推進に直接・間接的に必要となる一切の費用（直接経費および所属機関が定める間接経費）に充当いただけるものとします。

※間接費の合計額は、助成総額の30%を限度とします。

研究期間および使用期限：2026年10月～2029年3月末（2年6ヶ月間）

4. 提出書類

申請者は以下の書類を電子データ（PDF形式）にて提出するものとする。

- ① **申請書**（所定様式）：所属機関長の押印を受けること。
- ② **研究計画書**（所定様式）：研究の背景・目的、独創性、実施計画、期待される成果、予算計画を記載すること。
- ③ **レイサマリー**（様式任意、A4サイズ1～2枚程度）：患者等の非専門家が研究意義を理解するための資料。PowerPoint等を用い、図表やイラスト（いわゆるポンチ絵）を活用して視覚的に理解を促す構成とすること。なお、以下の内容を必ず含めること。
 - ・研究の背景・課題、期待される恩恵、患者負担への配慮、本助成の重要性
- ④ **推薦書**（所定様式）：
 - （ア）申請者が講座主任（教授）等の場合は、学部長、病院長、または学長等の所属機関長による推薦を必須とする。
 - （イ）申請者が准教授・講師・助教等の場合は、所属講座の主任教授による推薦を必須とする。
- ⑤ **業績目録**（所定様式）：申請者のこれまでの実績を示す代表的な論文10報以内。
- ⑥ **論文**：業績目録に記載した論文（10報以内）。

申請書等の所定様式は、電子申請システム『[Graain](#)』内からダウンロードしてください。
各提出書類のファイル名は「所属機関_氏名_研究テーマ_書類名」としてください。
書類名には、以下の番号およびファイル名称を使用してください。

①申請書②研究計画書③レイサマリー④推薦書⑤業績目録⑥論文

※論文については、「所属機関_氏名_研究テーマ_⑥論文『論文名』」としてください。

応募方法：

電子申請システム「[Graain](#)」より応募ください。

新規アカウントを作成し、必要事項の入力および書類の提出を行ってください。

- ・ [新規アカウント登録マニュアル](#)
- ・ [申請者操作マニュアル](#)

5. 応募資格

日本国内の大学、附置研究所、公的研究機関、または病院に所属する研究者であること。

前項の通り、所属機関長の推薦を受けた者であること。

※1 機関からの推薦は、各区分につき2名までとし、所属機関内で事前に調整を行うこと。

※上限を超えて申請された場合、その取扱い（差戻しや選考・調整等）は事務局の判断に一任されるものとする。（2026年4月10日追記）

6. 選考方法および選考基準

本基金選考委員会において、以下の基準に基づき厳正に審査を行う。

独創性・革新性：従来の延長線上にない、根治に繋がる斬新な着想が含まれているか。

ドナー意欲への合致度：根本治療（治る未来）への寄与が明確であるか。

実現可能性：研究計画が緻密であり、助成期間内に相応の進展が期待できるか。

7. 義務および報告事項

- ・ **報告義務：**助成対象者は、毎年度終了後3ヶ月以内に、所定の「研究成果報告書」および助成金の使用内訳を記した「収支報告書」を提出しなければならない。
- ・ **助成金の管理・使用：**助成金は、本研究の遂行に必要な経費として適正に使用するものとする。支出を証明する領収書や証憑書類は、適切に保管し、当財団の求めに応じて提出しなければならない。なお、以下の間接費としての支出を認めるが、その合計額は助成金総額の30%以内とする。
 - ・ **機関管理費：**所属機関（大学本部・病院等）が研究支援のために一括徴収する経費。報告時には、所属機関が発行する受領証明書または学内伝票の写し等を提出するこ

と。

- **研究室運営費**：研究室の維持・運営に充てられる共通経費（光熱水費按分、共用事務用品等）。個別領収書が発行されない費用については、引き落とし明細や積算根拠資料に所属機関の承認印を受けたもの等を提出すること。
- **助成金の返還**：以下のいずれかに該当すると当財団が認めた場合、助成金の取消し、および交付済み助成金の全部または一部の返還を求めることができる。
 - 申請書等に虚偽の記載があった場合。
 - 助成金を対象外の目的に使用し、または不正に使用した場合。
 - 研究遂行において学術的・倫理的な不正行為（捏造、改ざん、盗用等）が認められた場合。
 - 正当な理由なく報告義務を怠った場合。

8. 選考スケジュール

2026年4月6日（月）00:00：公募開始

2026年6月30日（火）23:59：応募締切（必着）

2026年7月～9月：書類審査および選考会

2026年9月末：助成対象者決定

2026年10月上旬：助成金交付（一括振込）

9. その他

選考結果は9月末を目途に応募者全員に通知する。

選考の公平性を期すため、選考経過および不採択理由に関する個別の講評（レビュー）や問い合わせには一切応じない。

提出された申請書類は返却しない。

本件に関するお問い合わせ先

<所在地>

〒107-0052

東京都港区赤坂九丁目7番1号ミッドタウン・タワー18階

ワークスタイリング東京ミッドタウン

革新的治療開発基金（公益財団法人日本プライベートトラスト財団）事務局

<連絡先>

Email：info@privatetrust-fdn.org

以上